

## 6.19 生態系 (6.19.2 陸域生態系)

## 資料編 6.19.2 陸域生態系 目次

表-6.19.2.1.1	オカヤドカリ類・オカガニ類の確認状況（平成19年度陸域動物調査時）	資 6-19-2-1
表-6.19.2.1.2	4月13日重点調査範囲/演習場地区（埋立土砂発生区域）ツミのビデオ撮影概要	資 6-19-2-1
表-6.19.2.1.3	4月13日重点調査範囲/演習場地区（埋立土砂発生区域）ツミのビデオ撮影データ	資 6-19-2-1
表-6.19.2.1.4	4月13日松田区その1ツミのビデオ撮影概要	資 6-19-2-3
表-6.19.2.1.5	4月13日松田区その1ツミのビデオ撮影データ	資 6-19-2-3
表-6.19.2.1.6	5月14日松田区その2ツミのビデオ撮影概要	資 6-19-2-5
表-6.19.2.1.7	5月14日松田区その2ツミのビデオ撮影データ	資 6-19-2-5
図-6.19.2.1.1(1)～(2)	オカヤドカリ、オカガニ移動経路	資 6-19-2-6
表-6.19.2.1.8	マングローブ林の河川別調査測線・コドラート対応一覧	資 6-19-2-7
図-6.19.2.1.2(1)～(5)	地点及びコドラート・底質調査地点位置	資 6-19-2-8～10
表-6.19.2.1.9	各マングローブの地点毎にみられる植生一覧	資 6-19-2-11
図-6.19.2.1.3(1)～(5)	マングローブ林の植生環境	資 6-19-2-12～16
表-6.19.2.1.10(1)～(2)	マングローブ林の毎木調査結果	資 6-19-2-17
表-6.19.2.1.11	各河川におけるマングローブの樹木本数及び計測本数	資 6-19-2-18
表-6.19.2.1.12(1)～(15)	毎木調査結果（汀間川）	資 6-19-2-19～33
表-6.19.2.1.13(1)～(5)	毎木調査結果（大浦川）	資 6-19-2-34～37
表-6.19.2.1.14(1)～(11)	毎木調査結果（オー川）	資 6-19-2-38～48
表-6.19.2.1.15(1)～(12)	毎木調査結果（松田慶武原川）	資 6-19-2-49～60
表-6.19.2.1.16(1)～(11)	毎木調査結果（宜野座福地川）	資 6-19-2-61～71
図-6.19.2.1.4(1)～(5)	樹高と胸高直径の分散（汀間川）	資 6-19-2-72～76
図-6.19.2.1.5(1)～(5)	樹高と胸高直径の分散（大浦川）	資 6-19-2-77～81
図-6.19.2.1.6(1)～(5)	樹高と胸高直径の分散（オー川）	資 6-19-2-82～86
図-6.19.2.1.7(1)～(5)	樹高と胸高直径の分散（松田慶武原川）	資 6-19-2-87～91
図-6.19.2.1.8(1)～(5)	樹高と胸高直径の分散（宜野座福地川）	資 6-19-2-92～96
図-6.19.2.1.9(1)～(5)	汀間川の立木位置	資 6-19-2-97～100
図-6.19.2.1.10(1)～(5)	大浦川の立木位置	資 6-19-2-101～103
図-6.19.2.1.11(1)～(5)	オー川の立木位置	資 6-19-2-104～107
図-6.19.2.1.12(1)～(5)	松田慶武原川の立木位置	資 6-19-2-108～111

図-6.19.2.1.13(1)～(5)	宜野座福地川の立木位置	資 6-19-2-112～114
表-6.19.2.1.17(1)～(5)	底質分析結果	資 6-19-2-115～117
図-6.19.2.1.14(1)～(3)	マングローブ林の地点別環境情報図 (汀間川)	資 6-19-2-118～120
図-6.19.2.1.15(1)～(3)	マングローブ林の地点別環境情報図 (大浦川)	資 6-19-2-121～125
図-6.19.2.1.15(1)～(3)	マングローブ林の地点別環境情報図 (オー川)	資 6-19-2-126～128
図-6.19.2.1.17(1)～(3)	マングローブ林の地点別環境情報図 (松田慶武原川)	資 6-19-2-129～131
図-6.19.2.1.18(1)～(3)	マングローブ林の地点別環境情報図 (宜野座福地川)	資 6-19-2-132～134
図-6.19.2.2.1.1	アジサシ類の繁殖地である島嶼の状況	資 6-19-2-135
表-6.19.2.2.1.1	特定外来生物指定種の確認状況	資 6-19-2-136
図-6.19.2.2.1.2	工事中仮設道路周辺での動物確認状況	資 6-19-2-136
図-6.19.2.2.1.2	工事中仮設道路の形状	資 6-19-2-136
表-6.19.2.2.2.1	ツミの好適餌と考えられる鳥類の一例	資 6-19-2-137
図-6.19.2.2.2.1	アジサシ類の主な生息及び繁殖場の状況	資 6-19-2-138
図-6.19.2.2.2.2	ピーク騒音レベルの範囲(CH-53、C-12)	資 6-19-2-139
図-6.19.2.2.2.3	嘉手納飛行場周辺におけるツミの繁殖事例	資 6-19-2-140
図-6.19.2.2.2.4	普天間飛行場周辺におけるツミの繁殖事例	資 6-19-2-141
表-6.19.2.2.2.2(1)～(2)	飛行場を利用する可能性のある鳥類	資 6-19-2-142～143

表-6.19.2.1.1 オカヤドカリ類・オカガニ類の確認状況  
(平成19年度陸域動物調査時)

Line No. <sup>注1)</sup>	調査ルート概要	重点調 査範囲	確認種			
			オカヤドカリ	ムラサキ オカヤドカリ	コムラサキ オカヤドカリ	ヤシガニ
1, 2	名護市安部区		10		1	1
3~6	名護市汀間区					
7, 8	名護市瀬嵩区		3			
9~12	名護市大浦区		4	1		
13	名護市大川区					
14, 15	名護市二見区					
16	米軍施設弾薬庫地区沿岸部					
17	米軍施設弾薬庫地区内陸部	範囲内 <sup>注2)</sup>	7			
18	米軍施設キャンプ地区沿岸部代替施設予定地	範囲内				
19	米軍施設キャンプ地区沿岸部	範囲内 <sup>注2)</sup>				
20	米軍施設キャンプ地区内陸部代替施設予定地	範囲内				
21	米軍施設キャンプ地区内陸部	範囲内	12	2		
22	米軍施設演習場地区	範囲内 <sup>注2)</sup>	3			
23, 24	名護市辺野古区		6	2		
25, 26	名護市豊原区		3	7		
27, 28	名護市久志区		1	1	1	
29, 30	宜野座村松田区		15	1		
合計			64個体	14個体	2個体	1個体

注1)「6.17 陸域動物」参照。

注2)ルートの一部が重点調査範囲外を通過。

資料:「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

表-6.19.2.1.2 4月13日重点調査範囲/演習場地区(埋立土砂発生区域)

ツミのビデオ撮影概要

撮影データ概要	
調査日	平成20年4月13日
調査時間	6:00~11:00、15:30~18:30
撮影時間	15:39:10~18:09:24

表-6.19.2.1.3 4月13日重点調査範囲/演習場地区(埋立土砂発生区域)

ツミのビデオ撮影データ

時間	雌雄	内容	写真番号
15:39:10	—	撮影開始/巣内には何もいない	
16:50:41	雄	北方向より飛来して巣の中に入る/巣内では姿が見えない	
16:52:04	雄	巣内で立ち上がる	①②
16:52:06	雄	北方向に飛び立ち、すぐに姿が見えなくなった	③
18:07:09	雄	巣内で立ち上がる	④
18:07:12	雄	巣より飛び立つ	⑤
18:09:24	—	録画終了	



①



④



②



⑤



③

<参考写真>ビデオ撮影データからの  
ツミ画像(4/13 重点調査範囲/演習場  
地区(埋立土砂発生区域))

表-6.19.2.1.4 4月13日松田区その1ツミのビデオ撮影概要

撮影データ概要	
調査日	平成20年4月13日
調査時間	8:00~12:10
撮影時間	9:56:17~12:04:56

表-6.19.2.1.5 4月13日松田区その1ツミのビデオ撮影データ

時間	雌雄	内容	写真番号
9:56:17	—	撮影開始	
10:14:41	雄	巣下方より飛来。一旦、巣の脇の横枝に止まる。	①
10:14:41	雄	巣の中に入る。巣の中でごそごそ動く。産座を整えていると思われる。	
10:15:48	雄	南東方向に飛び立つ。	
10:15:49	雄	視界からはずれて見えなくなる。	②
11:09:26	雄	下方へ飛び立つ。すぐに視界からはずれて見えなくなる。	③
11:11:00	雄	巣下方より飛来。巣に入る。	
11:11:27	雄	下方へ飛び立つ。すぐに視界からはずれて見えなくなる。	④
11:11:30	雄	巣下方より飛来。巣に入る。	
11:12:37	雄	東方向に飛び立つ。すぐに視界からはずれて見えなくなる。	⑤
11:47:44	雄	巣下方より飛来。巣に入る。	⑥
11:49:37	雄	南方向へ飛び立つ。	
12:01:07	雄	巣下方より飛来。巣に入る。	⑦
12:04:56	—	録画終了	





①



⑤



②



⑥



③



⑦



④

<参考写真>ビデオ撮影データからの  
ツミ画像(4/13日 松田区その1)

表-6.19.2.1.6 5月14日松田区その2ツミのビデオ撮影概要

撮影データ概要	
調査日	平成20年5月14日
調査時間	6:00~19:00
撮影時間	6:02:06~12:01:10

表-6.19.2.1.7 5月14日松田区その2ツミのビデオ撮影データ

時間	雌雄	内容	写真番号
6:02:06	—	撮影開始/開始時より巣内にいた。	
9:47:35	雄	下方南方向へ飛び立つ。すぐに視界からはずれ見えなくなる。	①
9:48:26	雄	下方東方向より巣に入る。	②
12:01:10	—	録画終了/巣内にいる	



①



②

<参考写真>ビデオ撮影データからの  
ツミ画像(5/14 松田区その2)



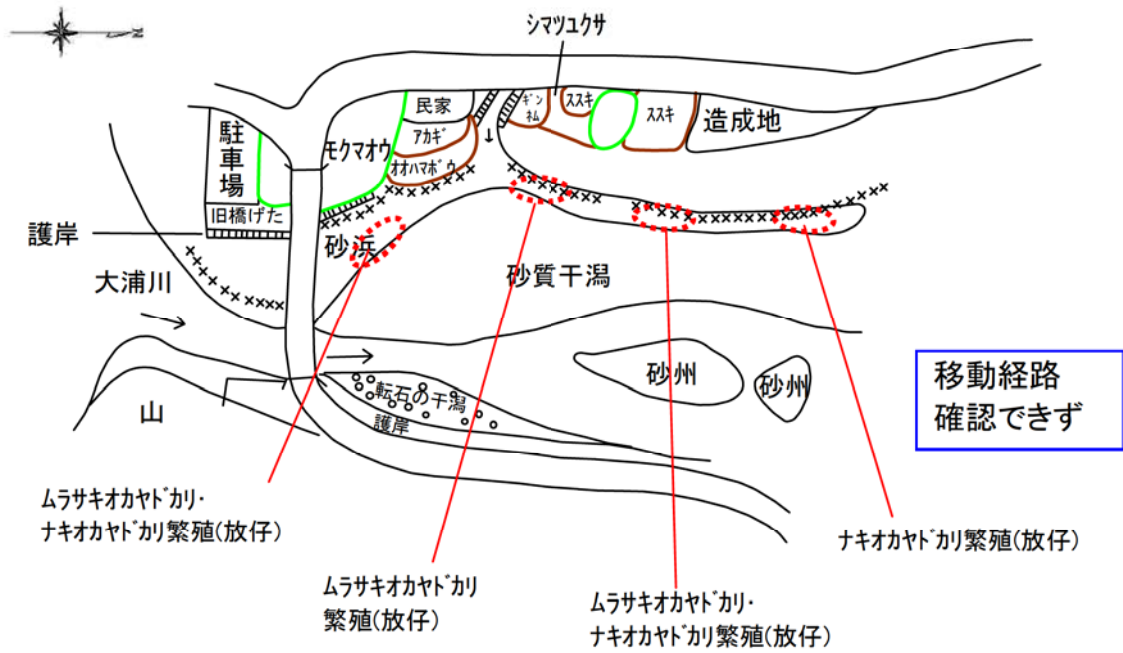


図-6.19.2.1.1 (1) オカヤドカリ、オカガニ移動経路 (地点 4)

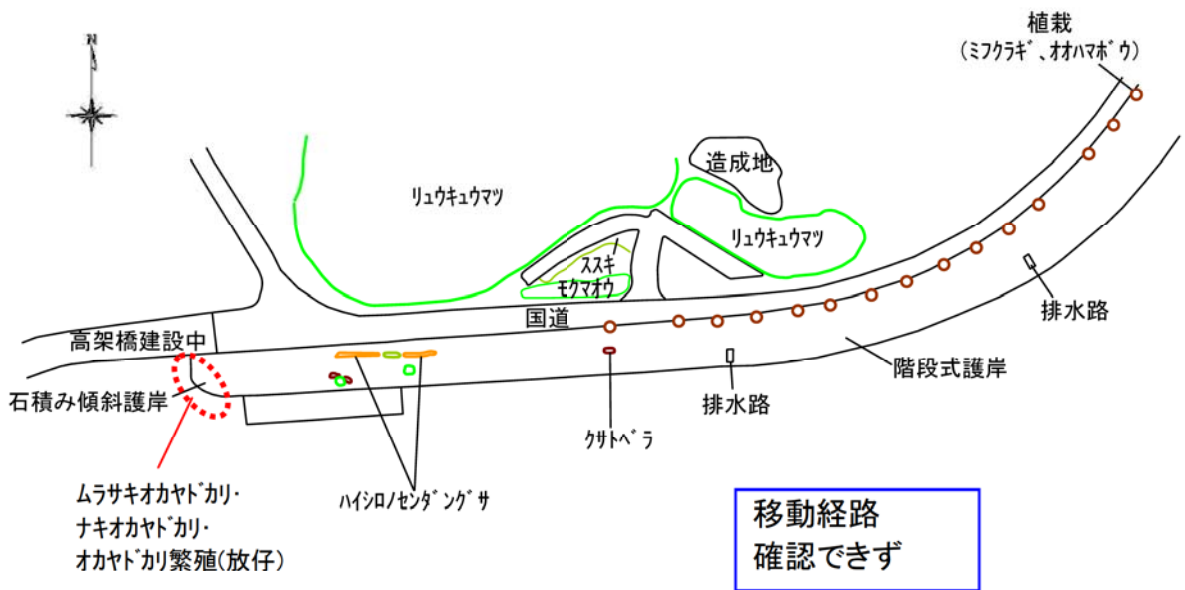


図-6.19.2.1.1 (2) オカヤドカリ、オカガニ移動経路 (地点 15)

表-6. 19. 2. 1. 8 マングローブ林の河川別調査測線・コドラート対応一覧

河川名	下流 ・中流 ・上流	底生動物調 査測線名	底質 調査地点	マングローブ コドラート 地点名	林縁・ 林内	最大樹高 (m)	コドラート の規格(m)	
							平行 方向	垂直 方向
汀間川	下流	地点 3	T-3	汀間 1	林縁	1.1	5	1.5
				〃 2	林内	4.8	6	6
	中流	地点 2	T-2	〃 3	林縁	1.2	5	2
				〃 4	林内	4.4	8	3
上流	地点 1	T-1	〃 5	林内	3.8	7	4	
大浦川	最下流	地点 3	0-3	—	—	—	—	—
	下流	地点 2-3	0-2-3	大浦 1	林縁	1.2	3	3
				〃 2	林縁	1.6	3	4
	中流	地点 2-2	0-2-2	〃 3	林内	8.4	8	8
				〃 4	林内	7.9	6	11
	上流	地点 2-1	0-2-1	〃 5	林内	8.6	10	10
最上流	地点 1	0-1	—	—	—	—	—	
オー川	下流	地点 3	K0-3	オー川 1	林縁	1.3	3	3
				〃 2	林内	8.9	10	10
	中流	地点 2	K0-2	〃 3	林縁	6.2	10.5	4
				〃 4	林内	6.4	10	9
上流	地点 1	K0-1	〃 5	林内	8.3	10	10	
松田慶 武原川	下流	地点 3	Ki-3	松田慶武原 1	林縁	1.1	6.5	1
				〃 2	林内	8.2	10	10
	中流	地点 2	Ki-2	〃 3	林縁	8.9	25	4
				〃 4	林内	8.4	10	10
上流	地点 1	Ki-1	〃 5	林内	8.8	20	5	
宜野座 福地川	下流	地点 3	F-3	宜野座福地 1	林縁	2.6	6	2.5
				〃 2	林内	4.3	6	5
	中流	地点 2	F-2	〃 3	林縁	1.3	5.5	2
				〃 4	林内	8.7	10	10
	上流	地点 1	F-1	〃 5	林縁	7.9	20	5

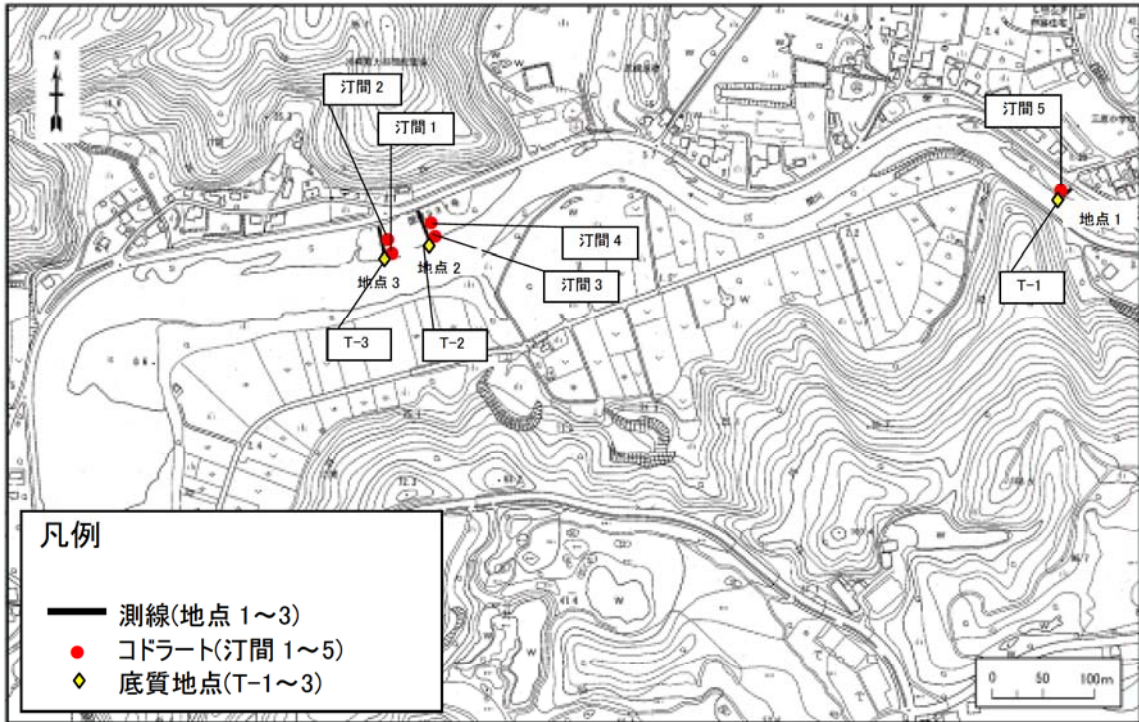


図-6.19.2.1.2 (1) 地点及びコドラート・底質調査地点位置(汀間川)

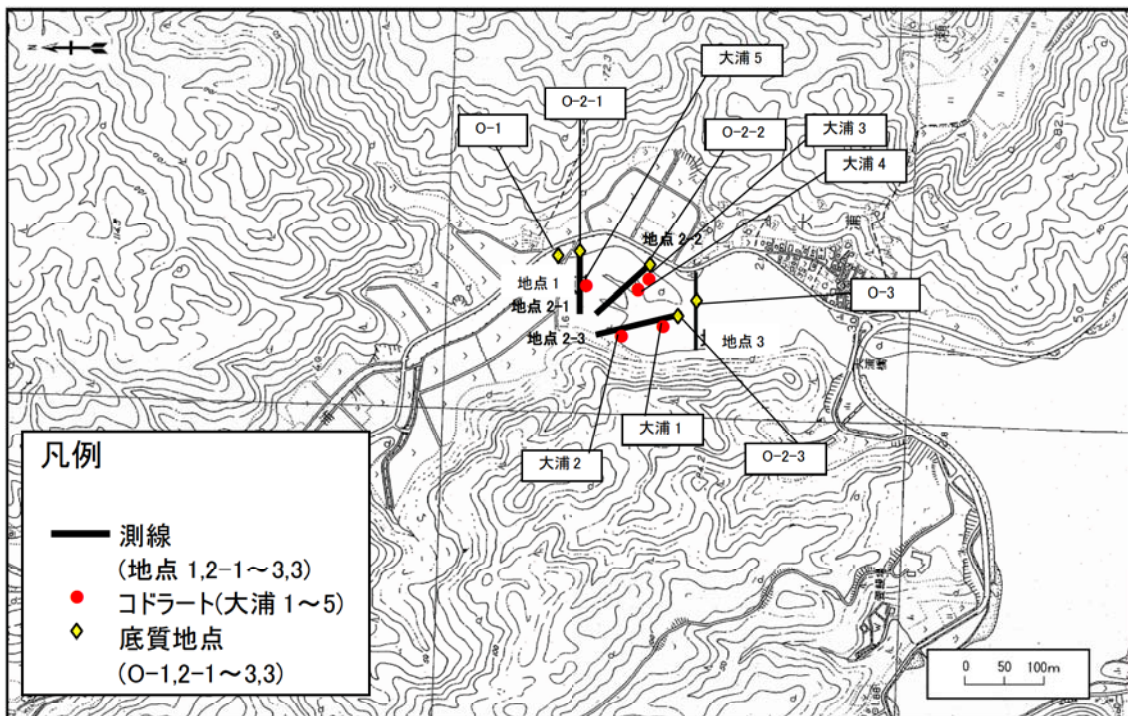


図-6.19.2.1.2 (2) 地点及びコドラート・底質調査地点位置(大浦川)



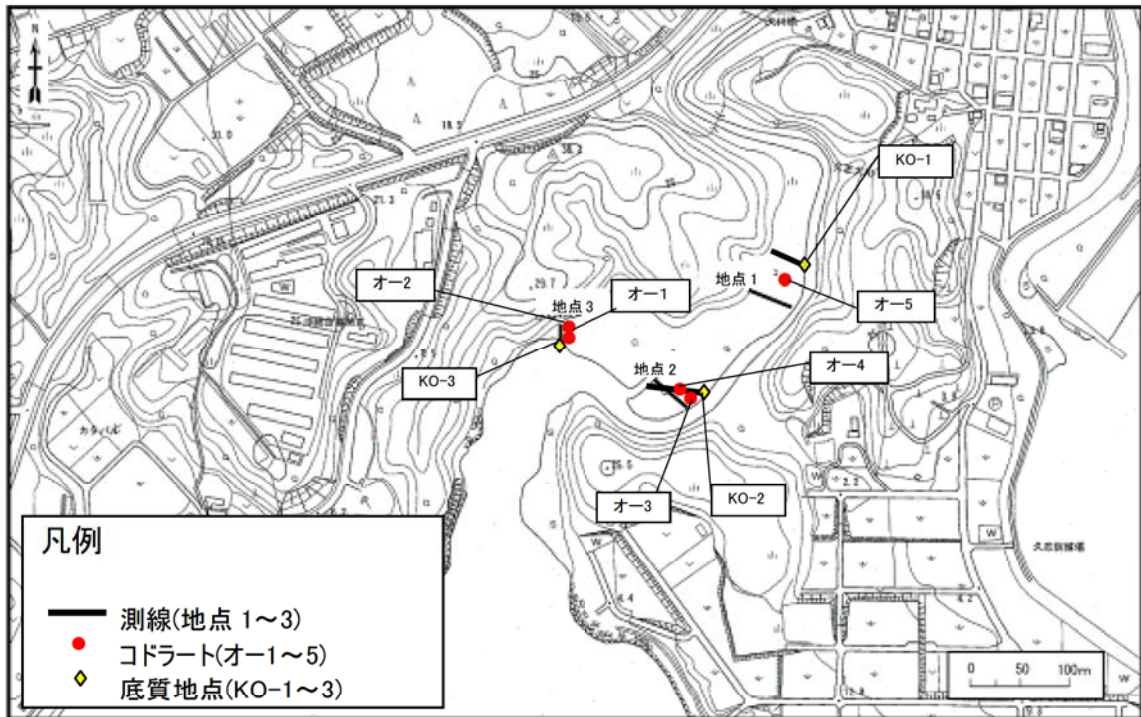


図-6. 19. 2. 1. 2 (3) 地点及びコドラート・底質調査地点位置(オー川)

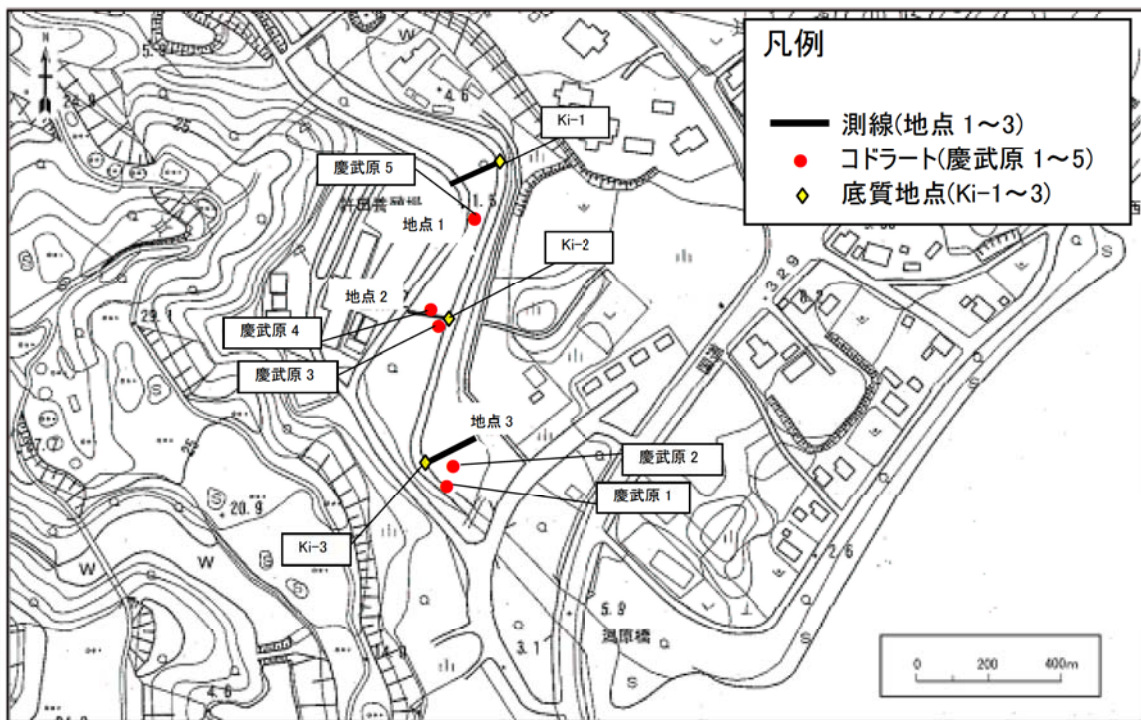


図-6. 19. 2. 1. 2 (4) 地点及びコドラート・底質調査地点位置(松田慶武原川)



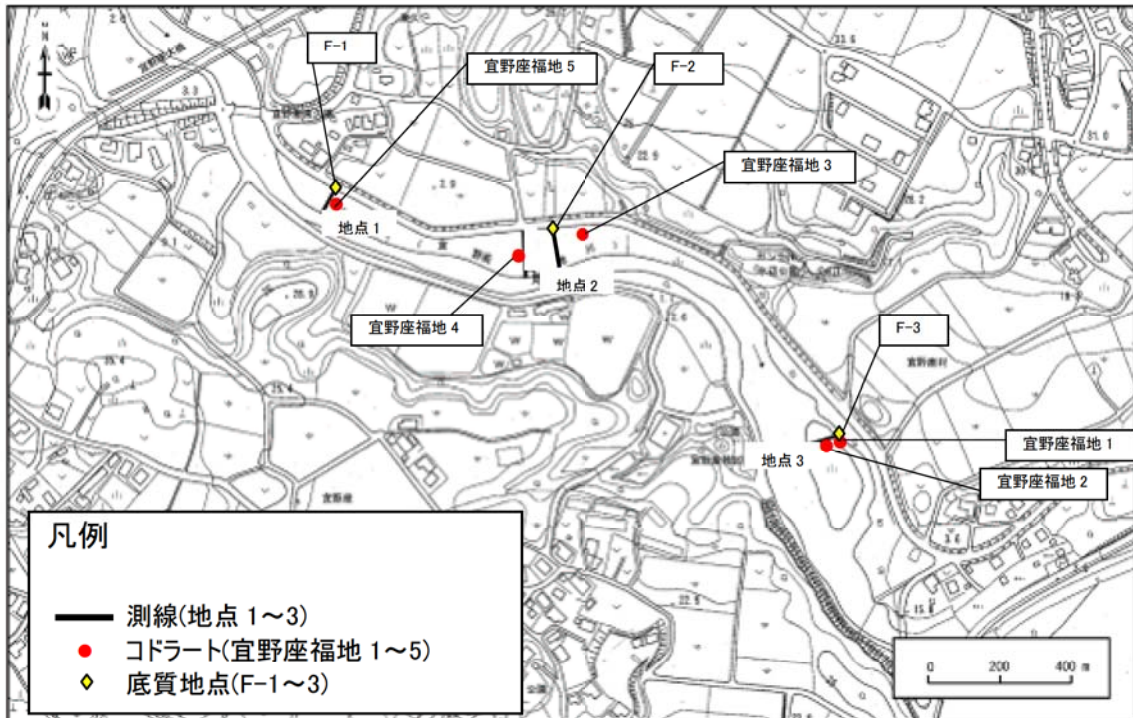


図-6.19.2.1.2 (5) 地点及びコドラート・底質調査地点位置(宜野座福地川)

表-6. 19. 2. 1. 9 各マングローブの地点毎にみられる植生一覧

植生区分	林高 (m)	注1) 階層 構造	概要	汀間川			大浦川 <sup>注2)</sup>					オー川			松田慶武原川			宜野座福地川				
				上流 (地点1)	中流 (地点2)	下流 (地点3)	上流 (地点1)	中上流 (地点2-1)	中流 (地点2-2)	中下流 (地点2-3)	下流 (地点3)	上流 (地点1)	中流 (地点2)	下流 (地点3)	上流 (地点1)	中流 (地点2)	下流 (地点3)	上流 (地点1)	中流 (地点2)	下流 (地点3)		
マングローブ林	オヒルギ亜高木林	6~8	II・IV	汀線から距離のある最後背部に位置するオヒルギ1種が優占する林高の発達した群落。			○		○	○			○		○	○	○		○			
	メヒルギーオヒルギ亜高木林	4~8	II・IV	発達した林分は、オヒルギ亜高木林と相観は近似するが、同亜高木林より河口に近く、冠水頻度が高い場所に成立する。						○			○						○		○	
	オヒルギーヤエヤマヒルギ亜高木林	5~7	II・IV	ヤエヤマヒルギの生育が確認された汀間川・大川・宜野座福地川のうち、大川にのみ成立。オヒルギ亜高木林の前縁に成立している。									○	○								
	メヒルギ亜高木林	3~5	II・IV	かつての流路跡や増水などの擾乱を受けにくい上流部に成立している亜高木林で、メヒルギ1種が優占するが、一部オヒルギも混じる。	○	○	○									○	○					
	ヤエヤマヒルギーメヒルギ低木林	4	III・IV	樹冠の一部が冠水するマングローブ林前縁部に成立している低木林。冠水頻度の低い上層にヤエヤマヒルギ、下層にメヒルギがそれぞれ優占し二段林構造を形成している。												○						
	メヒルギ低木林	0.8~1.5	IV	大潮の満潮時には林冠部まで冠水する場所に成立しているメヒルギ1種が生育・優占する低木林。マングローブ林の最前線にみられる。	○	○	○				○	○		○		○			○		○	○
マングローブ林に付随する周辺植生	アダンーオオハマボウ群落	5~7	II・IV	マングローブ林最奥部に成立するオヒルギ群落の、後背部に隣接して成立する亜高木林。林帯に奥行きがない汀間川と宜野座福地川には分布しない。					○				○	○	○							
	シマシラキ群落	2~4	III・IV	砂泥が堆積してやや乾燥した立地に成立する常緑広葉樹低木林、オヒルギやイボタクサギが混生する。大浦川にみられる。																		
	イボタクサギ群落	1.5	III・IV	マングローブ林の1構成種である蔓性木本植物イボタクサギが、樹木のギャップ等で繁茂して形成されたツルマント群落。																		○
	ソナレシバ群落	0.1~0.15	IV	マングローブ林最前線にみられるメヒルギ低木林より冠水頻度が高い汀線際に成立している塩沼地植生。																		○
	バラグラスーツルヨシ群落	1.5~2	IV1・IV2	マングローブ林上流部の流路沿いに成立する抽水性多年草群落。	○																	

注1) 階層構造について：II：亜高木層、III：低木層、IV：草本層、IV1：草本第1層、IV2：草本第2層

注2) 大浦川の調査測線は、マングローブ林域3測線(中上流~中下流)と、その上・下流部にあたる河川区域で2測線(上流・下流)の計5測線を設定。

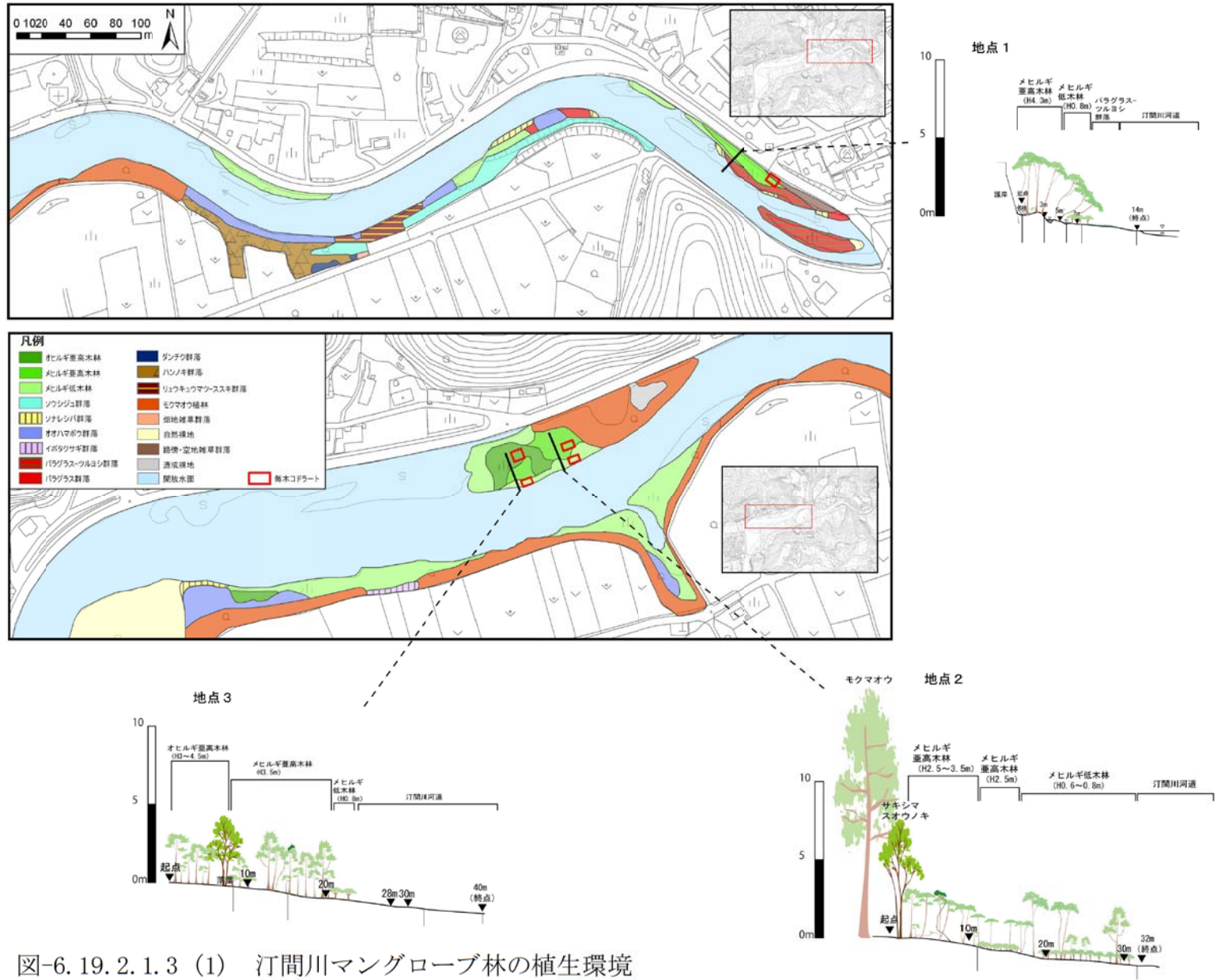


図-6. 19. 2. 1. 3 (1) 汀間川マングローブ林の植生環境

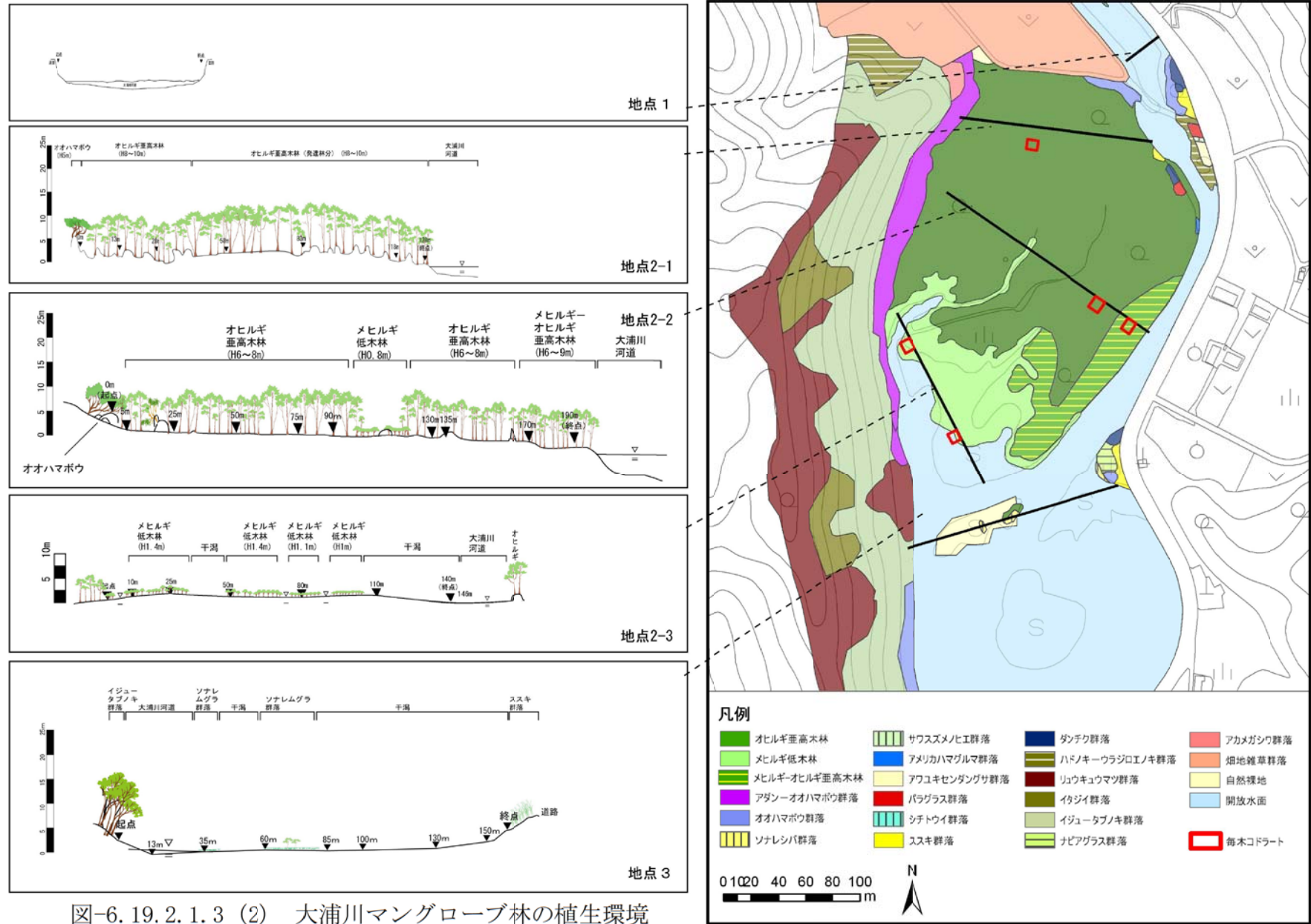


図-6. 19. 2. 1. 3 (2) 大浦川マングローブ林の植生環境